

第67回日本東洋医学会学術総会  
ランチオンセミナー5

# 漢方の美しさ(二)

～証の進行と対薬、三連薬～

日時

**2016年6月5日(日)** 12:30～13:30

会場

**第3会場**(サンポートホール高松 5F 第2小ホール)

座長

**土方 康世** 先生 医療法人東洋堂土方医院

演者

**松橋 和彦** 先生 長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 内科

本セミナーは整理券制です

配布場所

サンポートホール高松 3F ロビー

配布日時

6月5日(日)8:15～11:45まで(整理券がなくなり次第、終了)

※セミナー開始5分後をもって整理券は無効とします。

共催：第67回日本東洋医学会学術総会 / クラシエ薬品株式会社



## 御挨拶



証とは進展していくものです。たとえば気虚があれば温煦作用の低下により寒証が生じ、寒の凝滞性から瘀血を伴うようになります。また気の推动作用が低下すれば津液の停滞が痰湿を生じ、気滞を招きます。方剤の生薬構成が重要なのは、方剤の中にこのような証進展への対応がすでに用意されているからであり、生薬構成を学ぶことで基礎から臨床までの理論を効率的に理解することが可能になるからです。このたびのランチョンセミナーでは、証進展の理論を方剤に含まれる対薬、三連薬<sup>たいやく さんれんやく</sup>という生薬単位を用いて御説明いたします。



### 松橋 和彦 先生 御略歴

- ・ 1989年 群馬大学卒業
- ・ 1990年～1994年 中国に留学
- ・ 帰国後、地域医療研修を経て、
- ・ 1998年より現職。

長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 内科  
北相木村へき地診療所 所長

- ・ 資格  
日本東洋医学会認定漢方専門医